

図4 六賢台(哲学堂公園)



Wikimedia Commons

大学を卒業した翌年には出版会社「哲学書院」を設立し、自身の著書や大学の講義内容を出版して経営に成功し、政府や宗教団体に依存することなく、哲学館以外に京北中学校(一八九九)、京北幼稚園(一九〇五)、京北実業学校(一九〇八)を創設し、当時は郊外であった中野区和田山に一五五〇〇坪にもなる広大な土地を購入して哲学堂公園を開園しています。

都会では貴重な自然環境となった公園の行方を泉下の井上がどのように思慮しているか興味があります。次々と事業を拡大してきた井上は四七歳になった一九〇五年に自身で創設した大学の学長や中学の校長を突然辞職します。体調の悪化も理由ですが、学校という公共事業は一族で相続すべきではないという信念からとされています。以後は全国二九六八箇所を訪問、五五〇三回も講演をし、一九九年に旅先の満州で「われ死なば湯灌をせざるに婆婆の垢つけたままで火あぶりせよ」との辞世とともに急死します。六一歳でした。

妖怪研究により有名になる

このように哲学を研究し、教育に貢献した井上ですが、同時に「妖怪博士」という呼称もあるように、妖怪を本格研究したことで有名です。哲学と妖怪は関係なさそうですが、雪国の寺院に誕生した井上の周囲には、子供の時代から妖怪の話が存在していたことがあったため、東京大学に入学してから英国心霊現象研究協会が存在するという情報を入手し、日本でも研究しようとして一八八六年に「不思議研究会」を組織し、何人かで研究を開始します。妖怪という名称からは幽霊、

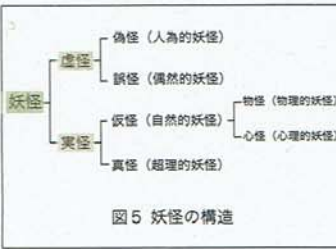


図5 妖怪の構造

図6 妖怪玄談(1900)



りさまなどを説明する心理部門、幽霊などを紹介する宗教部門、神童などを解説する教育部門、そして化物屋敷や魔法を対象とする雑部に分類しています。その研究の意図は最初の三種と真怪を区別できないために翻弄される一般大衆を救済することとした。そこで最初に研究対象としたのが「コックリさま」です。四〇センチメートル前後の細竹を中央でしばって三又にして上部に米櫃の蓋を乗せて白布を被せ、三人が片手で蓋を押さえ、コックリさまが移乗することを祈念します。移乗したら質問をすると蓋の運動で返答があるという仕掛けです。



の期待を上回る活躍をし、研究だけではなく教育の場所として東洋大学も創設し、仏教という環境だけでは提供しなかったという環境でも井上は偉大でした。しかも自身の学問と経営の才覚で獲得した資産や地位にも連絡とすることのない清々しい人生を貫徹したことも偉人です。

井上は各地の事例を参考に実験を繰返す、この現象が発生する二種の原因を特定します。第一は「予期意向」で、人間は潜在意識で回答を予想してしまうので、期待するような反応が発生するという事です。第二は「不覚筋動」で、意識しないうちに筋肉が反応して蓋が動いてしまい、霊力などを感じるという事です。この成果は「妖怪玄談」(図6)として出版されたが、井上は研究を継続し広範な内容にしたのが「妖怪学講義」です。

「モルゲン」の人気連載、書籍化！

清々しき人々

遊行者の月刊

自分のためだけではなく、人々のためにも高い理想と目標をもって生きて歴史に残る人々、23人を紹介。これから目指す社会のために。

月尾 嘉男 [著]

- 日本が東洋の英国になることを期待した教師……ヘンリー・ダイアー
- 明治時代に情報社会を見通した天才……志田 林三郎
- 関東大震災を警告した地質学の先駆者……今村 明徳
- 日本の科学の発展に活躍した……本多 静六、他19人

四六判並製 240ページ 本体1600円(税別) ISBN 978-4-902443-44-8 C0023

遊行者 〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町5-5-1F <http://yugyosha.web.fc2.com/>
TEL 03-5361-3255 FAX 03-5361-1155 MAIL morgen@vesta.ocn.ne.jp

編集後記

12月に入ってもまだ、冬の寒感がなく日々を送っている。だが今年も終わりの足音は日に日に近づいている。さて、今年はどうな年であったのか、2年後のオリンピックムードを盛り上げようと、各スポーツ選手の素晴らしい活躍を報じる毎日。確かに日本選手の弛まない努力がその結果を招いていることに間違いない。その努力による栄光は多くの子どものたちの憧れとなって目指す目標になるに違いない。

しかし、その報道の陰で見聞きしなくなった被災地のいま。何事もなかったような福島の原発。帰還困難区域であるはずの街もいまや解除になるという。本当に大丈夫なのだろうか。もっと丁寧に被災地の人々を支えることはできないのか。何かできることはないか、と思う。(H)

12月号 平成30年12月7日発行

- 編集 モルゲン編集部
- 発行 (株)遊行者
- 印刷 北日本印刷(株)
- 〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町5-5-1F
- TEL 03-5361-3255 FAX 03-5361-1155
- HP <http://yugyosha.web.fc2.com/>
- MAIL morgen@vesta.ocn.ne.jp
- 配布エリア
- ・高等学校(全国)
- ・中学校(北海道/岩手/宮城/福島/群馬/栃木/茨城/埼玉/東京/千葉/神奈川/長野/新潟/山梨/富山/石川/福井/岡山/広島/香川/愛媛/高知/佐賀/長崎/沖縄)
- ・朝の読書実施校(全国中・高等学校)
- ・大学・短大・専門学校・サポート校の一部
- 月刊紙(毎月1回発行 ※7・8月は合併号)
- 定価 年間購読料3,564円(324円×11回)
- ※一部売り540円(税込)